



## さし木き き みずの木を水ね でにひたしておくとなぜ根ねが出るでの

植物しょくぶつには体からだの一部分いちぶぶんから、植物全体しょくぶつぜんたいを作りだす力つくりだすがあるちから

植物しょくぶつをふやす方法ほうほうに、さし木き、さし芽め、さし葉ば、取り木と きなどがありますが、これらはみな、植物しょくぶつがもつ、体からだの一部分いちぶぶんから植物全体しょくぶつぜんたいを作り出す力つくりだすを利用してちからいます。

下等かとうな動物どうぶつにも、このような力ちからをもつものがあります。たとえばプラナリアは、ちぎれた体からだの一部分いちぶぶんが、それぞれ全体ぜんたいをつくりあがあげます。

### まず根ねが出るで

種たねから根ねがまっ先さきにのび出すように、さし木だやさし葉きでも、まず、栄養えいようや水みずを取り入れる口くちに当たる根ねがのびてきます。根ねはしめった暗くらい地中ちちゅうに向かむってのびる性質せいしつがありますので、暗くらくしておいたり、しめらせておいたりすると、根ねの成長せいちょうが早はやくなります。

### 根ねが出でやすい場所ばしょ

どこからでも根ねが出でるとはいえ、根ねが出でやすい場所ばしょがあります。枝分えだわかれする節ふしの部分ぶぶんは、特にこのようとくな力ちからが強いつよところです。（監修・中山 周平）

